―覚えておくべき重要なことは、私達が音楽で何をするかということではなく、音楽が私達にどのように働きかけるのかということです。すなわち音楽を私達が引き寄せるのではなく、私達が音楽に寄り添っていかねばなりません。

（アンドレ・ラプラントの言葉／アナレクタレーベルのウェブサイトより）

この言葉はラプラント本人のインタビューの一節である。省略した前後の文脈を含めて私なりの解釈をすれば、音楽を利用して自身の技術や知識をひけらかすのではなく、技術は作品に潜在する音を音楽にするために与しなければならないということだろう。これは音楽に限らず人の手仕事あるいは職人技と《芸術》との明確な分水嶺なのである。彼の演奏を聴いていると、私の身体に不思議なことが起こった。彼の奏でる長いフレーズに従って私の呼吸が引き伸ばされていく、しかしそれは自然で全く息苦しさを感じさせないのだ。上述した引用は「奏者」と「音楽」という二項に対しての言葉であるが、私の身に起こったこの体験が「奏者」と「音楽」の二項に「聴衆」を加え、奏者と同様に我々も自身の知識や経験に囚われずに、演奏芸術の特質である、謡い／旋律、ハーモニー／リズムに身を委ねるようにするべきなのではないかと考えるきっかけとなった。彼の技芸はショパンやリストの作品という豊穣なる大地を耕し、そこに在る種を聴く者の身体に芽吹かせることができる、ヴィルトゥオージティの本来あるべきかたちなのではなかろうか。（文：招聘元 アイエムシーミュージック）

アンドレ・ラプラント André Laplante, Piano

©Peter Schaff

ロマン派音楽の偉大なヴィルトゥオーゾとして評価されているカナダ人ピアニスト。2015年にはイギリス連邦からカナダ勲章-オフィサー（Order of Canada）を授与された。また、2015年ショパンコンクール2位を受賞した、シャルル・リシャール＝アムランを育てたことでも知られている。

―カナダ最大のレコード賞の受賞、傑作録音作品の数々

アナレクタレーベルから発表された録音から、Felixレコード賞を1995年に「リスト」、1996年「ブラームス」で連続受賞。他にラヴェル、ラフマニノフ、ショパンをリリースしている。また、ラジオ・カナダから発表された、ヨアフ・タルミ指揮のケベック交響楽団との「チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番」は2001年のFelix賞にノミネートされ、CBCレーベルによる「ジャック・エトゥ：ピアノ協奏曲第2番」の録音は2004年のJunoアワードオーケストラ部門を受賞した。

―チャイコフスキーコンクール2位受賞

若き日の彼は、ジュネーヴ、シドニーの各コンクールでの活躍につづき、チャイコフスキー国際コンクール（1978）での2位受賞（1位プレトニョフ、同位ドヴァイヨン）を機に国際的に注目を集める存在となる。当時の評論家達の間で、アシュケナージやホロヴィッツ、ルドルフ・ゼルキンなどの往年の巨匠と比され、リスクを恐れぬヴィルトゥオーゾ達の一員として歴史的に名を刻むピアニストの仲間入りをすることとなった。ケベック州音楽評議会より、年間を通して最も優れた公演や演奏家のみに贈られる名誉あるオーパス賞を複数に渡って受賞している。（1999年ベストコンサート賞、2006年ベスト・アーティスト賞、2010年ベスト・コンサート賞）

―指揮者、オーケストラとの共演

サー・ネヴィル・マリナー指揮ミネソタ響や、アンドリュー・ディヴィス指揮トロント響とのヨーロッパツアーに参加。また過去に、ユーディ・メニューイン指揮ロイヤルフィルハーモニー管弦楽団の北米ツアーにソリストとして抜擢される。他にも、モントリオール響、シカゴ響、カーネギーホールおよびケネディーセンター（ワシントンDC）でのチェコフィルとの共演、サンクトペテルブルグ響などとの共演を含むロシアツアーがある。

―数多の音楽祭への招聘

トロント音楽祭、オーフォード音楽祭、ラノディエール国際音楽祭、ドメーヌ・フォルジェ（以上、カナダ）、ドビュッシー音楽祭（フランス）、ペーチ音楽祭（ハンガリー）、ザルツブルグ音楽祭（オーストリア）、TCU-ヴァン・クライバーン、インスティテュート（アメリカ）などの主要な音楽祭にも度々招かれる。

―コンクール審査員として

これまでにチャイコフスキー国際ピアノコンクール、オーストラリア国際音楽祭、カナダで最も権威のあるCBCコンクール、ホーネンス国際ピアノコンクール、ウィリアム・カペル国際ピアノコンクール、ヴァン・クライバーンアマチュア国際ピアノコンクールにて審査員を務める。

―教育者としての成功、愛弟子シャルル・リシャール＝アムラン

2015年までモントリオール音楽院でクラスを持ち、同年にショパン国際ピアノコンクールで2位を受賞したシャルル・アムランも弟子の一人である。またコンサートのオフシーズンには、カナダ、アメリカを中心としたセミナーにおいての熱心な指導でも知られている。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール（052-265-1715）までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14　〒460-0008
TEL：052（265）1715　FAX：052（265）1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間：10：00～16：00
※13：45以降に開演の公演がある場合は18：00まで営業
年中無休（年末年始、施設メンテナンス日を除く）